

# 平成 26 年度 学校自己評価システムシート ( 県立 日高 高等学校 )

目指す学校像	「地域に愛され、期待に応える学校」 良好な人間関係に基づき、知力・体力の向上に努め、心豊かで元気な生徒を育成する学校。 さらに、教育活動の成果を礎に進路希望が実現できる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 知力・体力の向上を目指す主体的学習態度の育成</li> <li>2 豊かな心を育む基本的な生活習慣の確立</li> <li>3 進路実現を図る支援の充実</li> <li>4 地域・保護者との連携を深めた開かれた学校づくりの推進</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	6名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可

※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	・成績優良生徒数が微増し、学習習慣を身に付けられつつあり検定取得にチャレンジする生徒も微増した。 ・学習習慣の確立とわかる授業の創造のため、学習指導方法の工夫改善を図る必要がある。	・学習習慣を確立し、基礎学力が向上したか。	①学習習慣を確立のための工夫した学習指導と授業改善研修会を実施する。 ②各学年と各教科との連携を図り、学習習慣確立に向けてあらゆる機会を利用して生徒、保護者に働きかける。	①授業改善研修会を2回実施し、適切な学習指導により授業以外に学習する時間が増加したか。 ②検定取得を推奨し、新たに取り組む生徒が増加し、家庭の協力が得られたか。	①家庭学習時間は、増加していなかった。しかし、毎日家庭学習する生徒は微増した。 ②全商英語検定に6名が受験し、3名が合格できた。しかし、家庭の協力を得るには課題がある。	A
		・わかる授業を徹底し、授業満足度が高まったか。	①個々の生徒の能力及び理解度に応じた指導を徹底する。 ②学校行事と学習活動の調和を図るとともに、ITなどの学習指導技術を利用し、学ぶ意欲を高める。	①授業アンケートから授業内容が理解できる生徒が増加したか。 ②学校行事と授業満足度が向上したか。	①積極的学習姿勢は、醸成できたが学習内容の理解度を高めるまでは至っていない。 ②授業満足度は微増した。	B
2	・基本的な生活習慣が確立しつつあるが、社会的規範を身につけられていない生徒も散見される。	・基本的な生活習慣が確立したか。	①遅刻指導や登校指導の在り方を改善し、効果のある指導を確立する。 ②授業規律指導や清掃指導を徹底し、学習環境を良好に保てる取組を行う。	①チャイムによる始業と挨拶が徹底でき、遅刻度数が減少したか。 ②授業規律指導や清掃指導が徹底でき、良好な学習環境が保てたか。	①月によっては改善の兆しがあったが、遅刻度数は改善しなかった。 ②安全点検を徹底したことにより、生徒の安全確保の体制が確立した。	B
		・社会的規範を身につけられたか。	①社会貢献活動を活用し、良好な人間関係を構築させ、自転車や電車の乗車マナーを向上させる。 ②自主的な挨拶の励行を奨励し、特別活動を活性化させる。	①各種社会貢献活動に対する満足度が80%以上が満足したか。 ②あらゆる機会での挨拶を奨励し、部活動加入率が10%以上向上したか。	①社会貢献活動に対する満足度は、85%の生徒が満足であった。 ②部活動などの特別活動において、参加する生徒が増加した。	A
3	・進路決定率は90%以上で良好であるが、中、長期的なキャリア教育が必要であり、志を育て正しい勤労観の育成に課題がある。	・希望進路実現の支援策を充実したか。	①各学年に応じた、緻密な進路計画にもとづいて適時、適切な個人面談を実施する。 ②進路情報業者の活用方法を綿密にする。 ③適切な就職、進学を実現するために学校外の各種機関を活用する。	①進路決定満足度を90%以上にできたか。 ②進路ガイダンスを進路情報業者を活用して3回以上実施できたか。 ③校外の各種機関の活用が4回以上できたか。	①進路決定率は90%を超え、進路満足度も85%であった。 ②進路情報業者との連携が図れ、計画通り実施できた。 ③面接指導を、本校職員以外により円滑に実施できた。	A
4	・多数の保護者が学校行事に協力、参加していただいている。協力、参加いただいている保護者数をさらに増やしていく必要がある。また、本校の教育活動の広報の機会を増やしていく必要がある。	・保護者の本校教育活動に積極的参加があったか。	①PTA活動の理解を深められるよう広報活動を行う。 ②IT機器を活用した本校教育活動の広報活動を行い、参加者及び出席者数を増加させる。	①「PTAだより」を中心にPTA活動に対する理解を深められたか。 ②IT機器により、保護者等に直接本校教育活動が広報できたか。	①PTA活動の広報活動により周知でき、学校からの通知文書も昨年度以上届きつつある。 ②メール配信回数が多くできなかったが、システムの構築はできた。	B
		・本校教育活動の広報活動が生徒募集につながったか。	①本校の教育力を地域社会に生かすとともに広報の場とする。 ②地域社会と中学校、小学校に「日高高校だより」を配布する。 ③HPの更新回数を増やし、本校の日常の教育活動をPRする。	①出前授業や公開講座数及び参加者数等が10%増加できたか。 ②全教員による中高連携活動が円滑に行え、学校説明会参加者数が前年度比5%増加したか。 ③HP閲覧者数が10%以上増加したか。	①公開講座への参加人数は、例年通りであったが、3つの中学校で出前授業が実施できた。 ②学校説明会への参加人数、20%程度減少した。 ③HPを大幅に改訂し、アクセス件数が7万を超えた。	B

学校関係者評価	
実施日	平成27年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善研修会を実施しており、生徒のためにも、素晴らしいことである。次年度も是非継続して実施してもらいたい。</li> <li>・新たな検定や高度な検定を取得する生徒が昨年度以上に増加してきているが、基本的内容の検定取得数も増加できる取組を期待している。</li> <li>・アルバイトと家庭学習のバランスをとれるように指導していく必要がある。</li> <li>・様々な学習指導方法を研究して積極的に取り入れていく必要がある。</li> <li>・遅刻指導を厳しくしていく時期に来ている。</li> <li>・落ち着いた授業環境であるが、一層の授業規律の確立と学校美化に努める必要がある。</li> <li>・社会貢献活動を更に発展させ、退学や転学者数を減らせる取組が必要である。</li> <li>・部活動加入率を高める取組が必要になっている。</li> <li>・求人数も改善してきていることから、進路未決定者数を減らすことが課題である。</li> <li>・各学年独特の取組がなされており、生徒実態に即した進路指導が行われ、保護者を巻き込んだ取組も行う必要がある。</li> <li>・PTA活動は計画的に順調である。しかし、各種学校行事等に参加する保護者は、役員だけになっており課題がある。</li> <li>・開かれた学校づくりのために地域社会の教育資源を活用してもよい。</li> <li>・HPのアクセス数や広報誌の発行数は劇的に増加してきているが、学校説明会への参加人数が減少している原因を分析し次年度の対策を早急に講ず必要がある。</li> <li>・本校志願者数を増加させるために積極的な本校の教育力の広報活動が必要である。</li> </ul>	